

リアルな最新事例で学ぶ！ 強い経営・次の一手

～知って得する知財マネジメント～

参加費
無料

類似品が
出回っている!?

新商品を
どう販売するか…

事業に知財活動を連動…
どうやって??

こんな時あなたの会社ならどうする？

さいたままでのセミナーに参加して一緒に考えてみませんか？

VUCA(Volatility = 変動性、Uncertainty = 不確実性、Complexity = 複雑性、Ambiguity = 曖昧性)の時代、事業環境の変化はそのスピードを増し、とりわけ、中小企業・ベンチャーにとっては競争力の強化、事業の継続性担保のために戦略的な経営が求められています。

こうした中、独立行政法人工業所有権情報・研修館 (INPIT) では、企業の事業戦略の立案と知財マネジメントについて実践的な理解を深めるために、中小企業やスタートアップの事例から自社に活用できるアイデアや指針を学ぶことができるケーススタディ研修教材を制作しました。企業に起こり得るビジネス課題の対策や課題解決に活用できるよう、全国8カ所で、本教材を用いたセミナーを開催いたします。

本セミナーの対象者

- ・ 中小企業経営者、経営幹部
- ・ 金融機関や中小企業支援機関のアドバイザー
- ・ 弁護士
- ・ 弁理士
- ・ 知的財産管理技能士
- ・ 中小企業診断士
- ・ 経営コンサルタント 等

リアル事例を基にしたケースを用い考察

グループワークでお互いの知見を共有

経験豊富な講師による具体的な解説

さいたま市開催は、令和4年9月26日 (月)

※開催地域により、使用する事例が異なります。(さいたま開催の詳細は裏面へ！)
ビジネスモデル活用編：さいたま市、名古屋市 (8/30)、大阪市 (9/7)
デザイン・ブランド活用編：札幌市 (調整中)、仙台市 (調整中)、高松市 (9/16)



お申込みは専用ホームページから ⇒

セミナーに関する
お問い合わせ

知財マネジメントセミナー運営事務局

TEL : 03-3502-5424

E-mail : info@ipms-seminar.inpit.go.jp

(受託事業者：一般社団法人発明推進協会)

2022年 知財マネジメントセミナー(さいたま市)

※換気、検温、手指の消毒、マスクの着用等、感染防止策へのご理解、ご協力をお願いいたします。

【ビジネスモデル活用編】

開催日時：令和4年9月26日（月） 13:30～16:40（受付開始13:00～）

開催場所：TKP大宮ビジネスセンター 2階 ホール1（さいたま市大宮区仲町2-26）

講師：田村 良介 氏（ライトハウス国際特許事務所 所長 弁理士）

ファシリテーター：尾崎 典明（一般社団法人発明推進協会 研究員）

13:30～	オリエンテーション
13:40～	ケーススタディ 1 『ビジネスモデル流出への対応』 ○事例の考察（5分程度） ○グループワーク（15分程度） ○発表（各グループ5分程度） ○講師による講評、解説（10分程度） <small>・ケース2、ケース3同じ。また、セミナーの進行状況に合わせて適宜休憩をはさみます。</small>
14:30～	ケーススタディ 2 『アジャイル開発における知財マネジメント』
15:20～	ケーススタディ 3 『創業期を支えた知財戦略』
16:10～	ケーススタディの振り返り・まとめ
16:30～	質疑応答
～16:40	（講師、参加者の交流は17:00まで）

知財マネジメント人材育成教材とは

実在する企業の新しい知的財産権（広義の知財含む）に係る戦略的な取組みを収集し、リアルな事例を基に制作したストーリー17ケースで構成する**ケーススタディ集**、ケーススタディ集のストーリーの重要なポイントを解説する**研修テキスト**、これらケーススタディ集、研修テキストを利活用するための研修企画者や講師向けの教材参考書となる**ティーチングノート**で構成されており、企業内研修や支援機関等によるセミナーの効果的な運営にご活用いただける教材です。

本教材は、INPITのホームページからダウンロード可能です。》》》

INPIT ケース教材

検索

高評価の教材をリバイス、最新事例を追加

2016年にリリース以来、20カ所以上の機関に活用され、500名を超える受講者の9割から、理解しやすい教材と高い評価を受けています。

2022年に新たな事例を追加し、内容を更新した最新版を公開しています。

教材活用のサポートも充実

知財マネジメントセミナー運営事務局では、本教材を活用したセミナー開催企画のご相談等に対応しています。

お気軽にお問い合わせください。

<過去の受講者の声>

- ・ 自社に置き換えてもあり得るケースで非常に参考になった
- ・ 事例を読み考え、その上でグループ討議する相互学習のシステムがとてもよかった
- ・ 自分の考え方と他の方の意見を比べることができたので理解が深まった